

福岡県機械金属工業連合会

北九州支部 通常総会

令和6年11月15日(金) 16時00分～19時10分

アートホテル小倉ニュータガワ 新館2F「アートルーム」

< 次 第 >

- 1 開会16:00
- 2 支部長あいさつ
- 3 議長選出
- 4 議事
 - (1) 令和5年度事業報告、収支決算承認について
 - (2) 令和6年度事業計画案、収支予算案承認について
- 5 卓話会16:30
 - 講師 日銀北九州支店長 森下 浩文 氏
 - 演題 「現金流通、世界経済、北九州経済」
- 6 交流会17:40
- 7 閉会19:10

令和5年度 事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

1 概況

令和5年度、コロナ感染症の収束に伴い、北九州地域の経済は正常軌道に移行してきた。この間、日本銀行北九州支店の金融経済概況によれば、北九州・京築地区の景気は、一貫して「回復している」となっている。

しかし、少子高齢化の進展や働き改革への対応により、中小企業の人材確保難、労働問題は一層深刻さを増しつつあり、事業継続の大きな課題となっている。これを受け、国では、外国人労働者の受け入れ拡大を目指し、技能実習生制度の大幅な見直しも検討している。

さらに国際的な政情の不安定化及び著しい円安により、原材料やエネルギー価格が高騰し、大きなコストアップ要因となっている。また、この物価騰貴を背景に、大手企業では長年低水準にとどまっていた賃金引き上げを行う動きが活発になった。北九州地区の中小機械金属業においても、懸案だった労務費の価格転嫁が実現でき賃上げを実施する動きも生じた。この賃上げを幅広い企業に波及させ、かつ持続的なものとし、地域経済の好循環に結びつけることが現下の大きな課題となっている。そのためには、急速に進むIOT・AIなどデジタル技術を活用した生産性の向上の取組みが急務である。加えて国による価格転嫁を促進する環境づくりや制度整備も不可欠である。さらに社会的要請が急速に高まる脱炭素化など、中小企業の取り組むべき課題は山積している。

福岡県機械金属工業連合会北九州ブロックでは、このような中、国、福岡県、北九州市などの協力を得て、その支援策について幅広く情報発信するなど、地域中小機械金属工業の振興に向け活動を展開した。

2 実施事業

(1) 近代化・高度化の推進

中小企業の近代化・高度化に向けて、生産性向上による付加価値の増大が長年にわたる大きな課題である。特に、現況は、物価高へ対応するとともに、さらに経済の好循環を生み出すため賃金の持続的な引き上げが求められており、その原資を生み出す生産性向上の重要性が一層高まってきている。そのため、福岡県中小企業生産性向上支援センターや北九州産業学術推進機構ロボット・DX推進センターと連携し、その支援の取組みを行った。

また、現下の経済情勢や今後の金融政策の動向など、企業経営を左右する知識や情報を得る機会を提供した。

ア 生産性向上の取組み事例や支援策の紹介

福岡県中小企業生産性向上支援センターや北九州産業学術推進機構では、支援による生産性向上・デジタル化のロールモデルも生まれてきている。

福機連北九州ブロックでは、北中連と連携し、成果を上げている企業による取組内容のプレゼンや、支援機関による窓口相談、専門家派遣などの支援策の紹介の機会を設けた。また、企業訪問の際などに、上記両機関の支援事例をまとめた事例集を提供した。

イ 支援対象企業の掘り起こし

北中連と連携し、福岡県生産性向上支援センターの北九州地区での活動を支援した。具体的には、市内企業のヒアリング情報に基づき、支援企業の掘り起こしに向けて同センターマネージャーと月1回情報交換会を行った。

ウ 福機連北九州支部総会における卓話会

日 時 令和5年7月24日(月) 17:30～
場 所 アートホテル小倉ニュータガワ
参加者 25名
講 師 日本銀行北九州支店長 寺山大右 氏
演 題 「最近の内外経済情勢と日本銀行の政策業務運営」

エ 先進事例視察等

コロナ禍前には、例年、全国のモノづくり企業の先進的な取組みを学ぶため視察を行ってきた。令和5年度は、この視察の再開を目指し、関西方面の工業団地等に打診したが、コロナ感染症の懸念が残り、受入れの受諾が得られなかった。

オ 県や市及び関係団体が開催する会議、研修会等への出席及び参加要請

一般社団法人福岡県機械金属工業連合会 第53回通常総会
(令和5年6月14日(水) 福岡県中小企業振興センタービル)
九州機械工業振興会第63回通常総会
(令和5年6月23日(金) リーガロイヤルホテル小倉)

カ 助成制度及び融資制度の利用促進

国・県・市の生産性向上はじめ各種助成制度、融資制度について積極的にPRと資料配布を行った。

(2) 安定振興対策の強化

- ① 脱炭素化にむけた社会の動きや新技術に関する情報収集、研究を行なった。
- ② 人材確保や働き方改革などに関する情報収集につとめるとともに、その支援制度の紹介に努めた。
- ③ 賃金引上げを支援する国の業務改善助成金や市の上乗せ補助制度の周知に努めた。
- ④ 大学就職担当と学生の就職活動に関する最新情報の交換を行い、それを必要に応じて関係機関や会員企業に伝えた。

(3) 組織強化対策

- ① 未加入企業の本部・支部加入を積極的に推進した。
- ② 中小企業団体九州大会へ参加するとともに、その決議内容を会員等へ周知を図った。さらに全国大会への参加勧奨を行った。

第62回中小企業団体九州大会	9月7日(木)	宮崎市
第75回中小企業団体全国大会	10月11日(水)	仙台市

貸借対照表

令和6年3月31日現在

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	(372,660)	流動負債	(331,000)
預 金	252,660	未 払 金	331,000
未収金	120,000	剰 余 金	41,660
		前期繰越利益	59,171
		当期収支差額	△ 17,511
合 計	372,660	合 計	372,660

預金先：福岡銀行小倉支店

損 益 計 算 書

自 令和5年4月 1日

至 令和6年3月31日

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

支 出 の 部		収 入 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 事業費	(192,332)	I 会費収入	119,000
1 近代化・高度化事業費	55,000	II 事務委託収入	228,000
2 安定振興事業費	57,000	III 補助金収入	93,000
3 組織強化対策費	74,072	IV 助成金収入	0
4 建議陳情費	6,260	V 雑収入	5
II 事務費	(265,184)		
1 事務委託費	120,000		
2 通信費	830		
3 印刷費	10,000		
4 消耗品費	1,254		
5 会議費	122,000		
6 旅費交通費	0		
7 雑費	11,100		
II 当期収支差額	(△ 17,511)		
合 計	440,005	合 計	440,005

- | | | |
|---------|--------|---|
| 1 前期繰越金 | 59,171 | 円 |
| 2 次期繰越金 | 41,660 | 円 |

監 査 意 見 書

令和5年度事業報告書、決算関係書類を監査の結果、適正に処理されているものと認めます。

諸帳簿、諸証票類の記帳、整理についても正確になされております。

以上のとおり報告します。

令和6年8月2日

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

監 事 富 澤 善 和



令和6年度 事業計画(案)

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

I 基本方針

北九州地域経済は、足掛け4年にわたり大きなマイナスを与えてきたコロナ感染症の影響を脱しつつある。日本銀行北九州支店の4月1日付け金融経済概況によると「北九州・京築地区の経済は、回復している。輸出は緩やかに増加している。設備投資は、高めの水準にあり、能力増強に向けた前向きな設備投資を行う先が目立つ。また、将来を見据えたデジタル・環境関連投資を行う先が見られる。」となっている。

一方、国際的な政情不安と著しい円安による原材料やエネルギー価格の高騰は、急激なコストアップ要因となっている。さらに少子高齢化による構造的な人材確保難や働き方改革の進展は事業の存続を揺るがしかねない。物価高を背景にした賃金引き上げの社会的要請、急速に進むデジタル化の進展、あるいは喫緊の課題となった脱炭素化の実現等々、中小企業が対応すべき課題は山積している。

特に、賃金の引き上げについては、一過性に終わらせず、地域経済の持続的な成長につなげなければならない。そのためには、中小企業、自らが生産性の向上、付加価値の拡大に向け努力するとともに、適正な価格転嫁を実現し、賃上げ財源を生み出していくことが不可欠だ。

このように経営環境が大きな転換期にある中、福機連北九州支部は、会員の英知を結集するとともに、国、県、市などの行政機関や他経済団体との連携強化を図り、北九州地域の機械金属工業事業を営む中小企業の経営体質の強化、健全な発展及び安定振興を促進し、地域経済の発展に寄与するよう活動を展開する。

II 実施事業

1 近代化・高度化の推進

(1) 近代化事業

会員の生産管理、新分野・新技術開拓、技術承継、環境対策、労働対策などに対する幅広い知識の修得や変動する経済情勢の認識を深めるため、講演会や研修会などを開催する。加えて、商工会議所、中央会や北中連等の中小企業団体が開催する各種研修会、講演会への積極的な参加を呼びかける。

〔11月26日開催予定の北中連主催「DX推進セミナー」に協賛して、製造業のAI活用による生産計画等のDX化の事例を学ぶセミナーへの参加を呼びかけるもの。〕

ア 先進事例視察

(一社)福岡県機械金属工業連合会や(一社)北九州中小企業団体連合会と連携し、戦略的な経営、生産管理、新製品開発、脱炭素技術への取組みなどユニークな経営を行なっている企業やその工場の視察を行い、課題解決に向けた具体的な対応等について調査研究を行う。

〔現在、訪問先について、打診・交渉中。実施時期は、年明けとなる見込み。〕

イ 生産性向上の支援策の紹介や支援企業の掘り起こし

賃金の持続的な引き上げの実現に向け、デジタル技術を活用するなど生産性向上が急務となっている。そのため、福岡県中小企業生産性向上支援センターや北九州産業学術推進機構ロボット・DX推進センターと連携し、取組み事例や支援策に関する情報提供を行うとともに、必要に応じて相談窓口を紹介する。このような活動により、支援企業の掘り起こしに努める。

ウ 高度化事業

福岡県や北九州市の高度化事業融資制度及び関連融資制度の広報に努め、周知と利用の促進を図る。

2 安定振興対策の強化

- ①北九州市及び関係機関の開催する人材採用に向けた合同説明会、採用力強化セミナー等の各種事業に関する情報提供を実施
- ②賃金引き上げに向けた国の業務改善助成金や市の上乗せ補助などの情報提供を実施
- ③新技術及び経営手法に関する調査、研究
- ④倒産防止及び受注促進を図るための対策強化

3 組織強化対策

- ①加入組合・企業の本支部への加入促進を図る。
- ②組織の強化と団結を図るため、9月に沖縄県宜野湾市で開催される第63回中小企業団体九州大会及び10月に福井市で開催される第76回中小企業団体全国大会への参加及び参加勧奨を行う。

4 建議陳情

関係機関と連携し、福岡県及び北九州市に対し支援施策の充実強化など建議・陳情活動を実施。

[10月16日北九州市へ中小企業対策に関する要望書を提出した。また10月18日福岡県へ中小企業対策に関する要望書を提出した。]

5 その他

- ①福機連本部が行う事業の協力、広報
- ②北九州産業学術推進機構の実施する支援事業への協力、広報
[ロボット・DX推進センターの「専門家派遣」や「DX補助金」の募集などの広報に努めている。]
- ③福岡県ものづくり中小企業推進会議への協力
[メルマガの配信を受けてHPの「新着情報」に掲載するなどの情報提供を行っている他に、11月27日開催予定の「ものづくりシンポジウム2024」の周知に努めている。]
- ④エコアクション21事業への協力

令和6年度 収支予算(案)

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日

福岡県機械金属工業連合会北九州支部

収 入 の 部		
科 目	金 額	備 考
I 会費収入	1,000,000	視察・交流会費等
II 補助金収入	424,000	北九州市より
III 事務委託収入	249,000	福機連本部より事務委託
IV 助成金収入	50,000	福機連本部より事業助成金
V 雑収入	1,000	預金利息ほか
VI 前期繰越金	41,660	
合 計	1,765,660	
支 出 の 部		
科 目	金 額	備 考
I 事 業 費	(1,230,000)	
1 近代化・高度化事業費	1,100,000	講演会、先進地視察
2 安定振興事業費	60,000	調査研究(新聞)
3 組織強化対策費	60,000	広告、ホームページ維持負担
4 建議陳情費	10,000	
II 事 務 費	(440,000)	
1 事務委託費	120,000	北中連へ 10,000円×12ヶ月
2 通信費	10,000	
3 印刷費	30,000	資料作成費ほか
4 消耗品費	10,000	
5 会議費	250,000	交流会
6 旅費交通費	10,000	
7 雑費	10,000	
III 予 備 費	(95,660)	
合 計	1,765,660	